

各市

「100年に一度のまちづくり」がもたらすチャンス

長崎市長 鈴木史朗



新年あけましておめでとうございます。晴れやかに新年をお迎えの

こと心からお喜び申し上げます。

長崎市役所は昨年1月4日に新庁舎で業務を開始し、間もなく1周年を迎えます。毎日多くの市民の方が手続きや相談等で来庁されるほか、まちなかを一望できる19階の展望フロアでくつろがれたり、庁舎前の広場でイベントが行われたり、2階の多目的スペース

1スで市民活動の発表が行われたりと、市民の皆さまに親しまれる庁舎になってきているように思います。さて、長崎市では、出島マッセ長崎や西九州新幹線の開業に加え、長崎駅周辺再開発など「100年に一度のまちづくり」が着々と進み、「新たなまちの基盤」がかたちになってきています。そして、いよいよ今年秋には長崎スタジアムシティが開業します。長崎スタジアムシティは、サッカースタジアムを中心にアリーナ、ホテル、オフィス、商業施設等からなる施設で、スタジアムではサッカーV・

ファールレン長崎の試合が、アリーナではバスケットボール長崎ヴェルカの試合が定期的に行われます。レベルの高いプロチームの試合が定期的に行われることで、スポーツツーリズムによる交流の拡大、旅行消費の拡大につながっていくと期待しています。これらの「100年に一度のまちづくり」がもたらすチャンスを手元に活用すれば、長崎市に新たな価値を創り出し、新たに人、企業、投資を呼び込むようになりま。加えて、これらに元々長崎のまちが持つ歴史、文化、自然、食、人などの魅力を掛

け合わせることで、長崎市はもっと元気なまちになります。そのためにも、国や県との連携強化はもちろん、民間企業、大学などの産学官連携、市民の皆様との協働など「オール長崎」の体制で取り組んでまいりますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

市長就任後初の新年！99の政策実現に向けしっかり取り組む

佐世保市長 宮島大典



明けましておめでとうございます。昨年春の市長就任後、初め

ての新年を迎えました。私に課された使命と責任の重さを常に胸に抱きながら、市民の皆さまのご期待に応えるべく、決意を新たにしているところです。

現在、佐世保市では今後目指すべきまちづくりの目標と取り組みを総合的に示す「第7次佐世保市総合計画後期基本計画」を策定しています。

この中で、私が掲げている「99の政策」の実現に向け、令和6年度からのまちづくりの方向性を示してまいります。後期基本計画における主な変更点

- 最重要課題である人口減少対策の要として「子育て支援・教育の充実」を計画のトップに位置付け
- 文化やスポーツに親しめる環境を整え、活力や生きがいを育み、心豊かな市民生活を
- 産業の活性化・稼げる力の向上をさらに推進するため、「観光商工政策」と「企業立

地政策」を統合し「経済政策」を新設

○地域の特性を生かしながら、まちの魅力や価値を高め、若者の活躍、定住人口の増加を図るため、「地域未来共創」の取り組みを新設

○基地の所在を生かしたまちづくりを推進するため、「基地政策」を「まち分野」に位置付け

令和6年度につきましては、「99の政策」をブラッシュアップするための体制を構築するとともに、子育て支援・教育の充実の第一歩として「学校給食費の中学校3年生無償化」や、県・市連携によ

 **一般社団法人 長崎県ほ装協会**

会長 中村 人久

長崎県長崎市万才町2番7号(松本ビル302号) Tel:095-826-2582 Fax:095-824-4833

長崎県管工事業協同組合連合会 (一社)長崎県管工事協会

理事長 岩永 堅之進

長崎市管工業協同組合

理事長 谷村 正夫

〒850-0026 長崎市古町54番地 TEL 095(824)1011 FAX 095(828)1963

NAGASAKI STEEL-RIB FABRICATORS ASSOCIATION

 **協同組合 長崎県鉄構工業会**

理事長 岩永 洋尚

長崎県西彼杵郡長与町吉無田郷2026-1石本ビル2F Tel.095(885)7700 Fax.095(887)0011

私たちは大切な水の安全を守ります。

一般社団法人 **長崎県貯水槽管理協会**

会長 池田 秀彦 副会長 谷村 正夫 他 会員一同

【事務所】 〒850-0026 長崎市古町54番地 管工事会館
TEL (095)893-7111 FAX (095)828-1963

<http://www.nagasaki-chosui.or.jp/>

「鉄筋工事の責任施工」を目指す技術者集団

 **長崎県鉄筋工事業協同組合**

THE NAGASAKI ERECTOR COOPERATIVE BUSINESS ASSOCIATION

理事長 平本 大介

〒850-0802 長崎市伊良木1-2-2 Tel.095-895-7355 Fax.095-820-2447 <http://www.nagasaki-tekkin.com/>

未来へつなぐ島原城築城400年

島原市長 古川隆三郎



新年明けましておめでとう... 皆様には、令和6年の新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年は年間をとおして、築城400年の関連イベントを開催するなど、市民総参加で取り組み、「城下町・島原」のシンボルとして島原城が築き上げてきた歴史や文化を次世代に伝承していきたくと考えております。

皆様には、令和6年の新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年、新型コロナウイルス感染症による制限のある生活も5月に終了し、様々なイ

このような中スタートする令和6年は、いよいよ島原城築城400年を迎えます。島原城は、松倉重政公が元和4年(1618年)から7年余りの歳月を費やして築いた近世城郭で、近年は、天守閣の改修を実施するなど、城及び周辺の整備事業の推進により、美しい姿を取り戻しました。

一層明るい未来を『拓く』一年に

諫早市長 大久保潔重



とお慶び申し上げます。昨年、市勢の更なる飛躍を予感させる一年となりました。

この成果は、交通の要衝としての交通の利便性、優れた人材の確保やインフラ環境の優位性が高く評価されたものと考えております。引き続き、西九州新幹線の開業効果を最大化させるとともに、「島原道路」をはじめとする広域道路ネットワークの整備・拡充を着実に推進してまいります。

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、新春を健やかに迎えのこと

京セラ株式会社南諫早産業団地に新たな生産拠点を立地することが決定し、また、長野町区画整理事業の核となる大型商業施設(仮称)ゆめタウン諫早一も開業に向けて本格的に動き出しています。

世界に目を向けますと、今年が、市民の皆様にとりまして、幸多き一年となりま

一般社団法人 長崎県解体工事業協会

〒850-0862 長崎県長崎市出島町5-19-1A TEL.095-895-5935 FAX.095-895-5936 http://www.kaitai-nagasaki.or.jp/

- 長崎市・西海市・西彼杵郡地区
(株)アクト
(株)一番建設
井手工業
サンコー(株)
(株)信和
(株)杉田産業
(株)西菱環境開発
(株)竹市建設
島原市・諫早市・大村市地区
(株)木下工業
(株)グリーンテック九州
(株)鈴木建設
中原土木(株)
(株)新栄建設

- 濱田建設工業(株)
(有)廣谷環境開発
(株)モリセ
(株)吉次工業
佐世保市・東彼杵郡地区
(有)井手組
(有)エフディ理工
(株)エムアイ興産
(株)おうず工業
(株)ケイアイ工業
(株)佐世保総合開発
(有)創研
(株)大成産業
(株)立石興産
(株)タムラクレーン

- (株)ヒデシマ
(株)平成建設
(株)森組
(有)山口工業
平戸市・松浦市・五島市・壱岐市
対馬市・南松浦郡地区
(株)壺松組
(有)今里産業
(株)今村組
(有)共栄組
(株)榮建設
(株)セイハウ開発
(株)早田組
(有)橘建設
(株)中原建設
(有)ヒロカワ

- 賛助会員
協業組合諫早輸送センター
鹿島機械工業(株)
(株)川口金
(株)キャタピラー九州
九州ワーク(株)
(株)キヨカ
グローバル建機(株)
コベルコ建機日本(株)
コマツカスタマーサポート(株)
(株)西部川崎
(株)滝口商店
(株)中央環境
(株)長崎スクラップセンター
(有)永田商店
(株)南陽
(株)ニシケン
(株)日本トリム
日本ヒルティ(株)
(株)森谷商
(株)山口商

『ONE OMURA』で「しあわせ」を 実感できるまちづくりを！

大村市長 園田 裕史



新年明けましておめでとう
ございます。皆さまにおかれ

ましては、健やかに新年をお
迎えのこととお慶び申し上げ
ます。

旧年中は市政に対し格別の
ご支援とご協力を賜り、厚く
お礼申し上げます。

昨年10月に市民の負託を受
け、第24代大村市長として、
引き続き市政を担わせていた
だくことになりました。新年

を迎え、改めて市政運営に全
身全霊をかけて取り組む決意
を新たにいたしているところ
です。

さて、本市は、50年以上人
口増加を続ける長崎県内唯一
の自治体であり、空港・新幹
線駅・高速ICの「高速交通
三種の神器」を兼ね備え、国
内でも有数の優位性を誇り、
高齢化率は県内で最も低く、
若くて元気で活気のある、便
利で暮らしやすいまちだと
なっています。

だからこそ、これからのま
ちづくりは、将来の大村市が
どのように進んでいくのか、
極めて重要な「はじめの一步」
になると考えています。

今年、デジタルのチカラ
を活用した地域コミュニティ
の再構築、子育て支援の更な
る充実、地域通貨の循環によ
るボランティアや市民協働、
など、市民一人ひとりが「し
あわせ」を実感できる取組を
推進していきます。

赤ちゃんからお年寄りま
で、みんなが大村市で生まれ
て、成長して、暮らして、住
み続けて、最期を迎えたいと
思えるよう、みんなが一つに
なって「ONE OMURA」

で将来に向けたまちづくりを
始めていきます。

結びに、皆様にとりまして
本年も輝かしい一年となりま
すよう、心からお祈り申し上
げ、新年のごあいさつといた
します。

選ばれる地方都市「平戸」の 信頼を高め、課題を乗り越える

平戸市長 黒田 成彦



新年明けましておめでとう
ございます。

皆様方におかれましては、
令和六年の新春をお健やかに
お迎えになられたことを心か
らお喜び申し上げますととも
に、平素より市政執行に対し

深いご理解と温かいご支援を
お寄せ頂きましたことに改め
て厚く御礼を申し上げます。

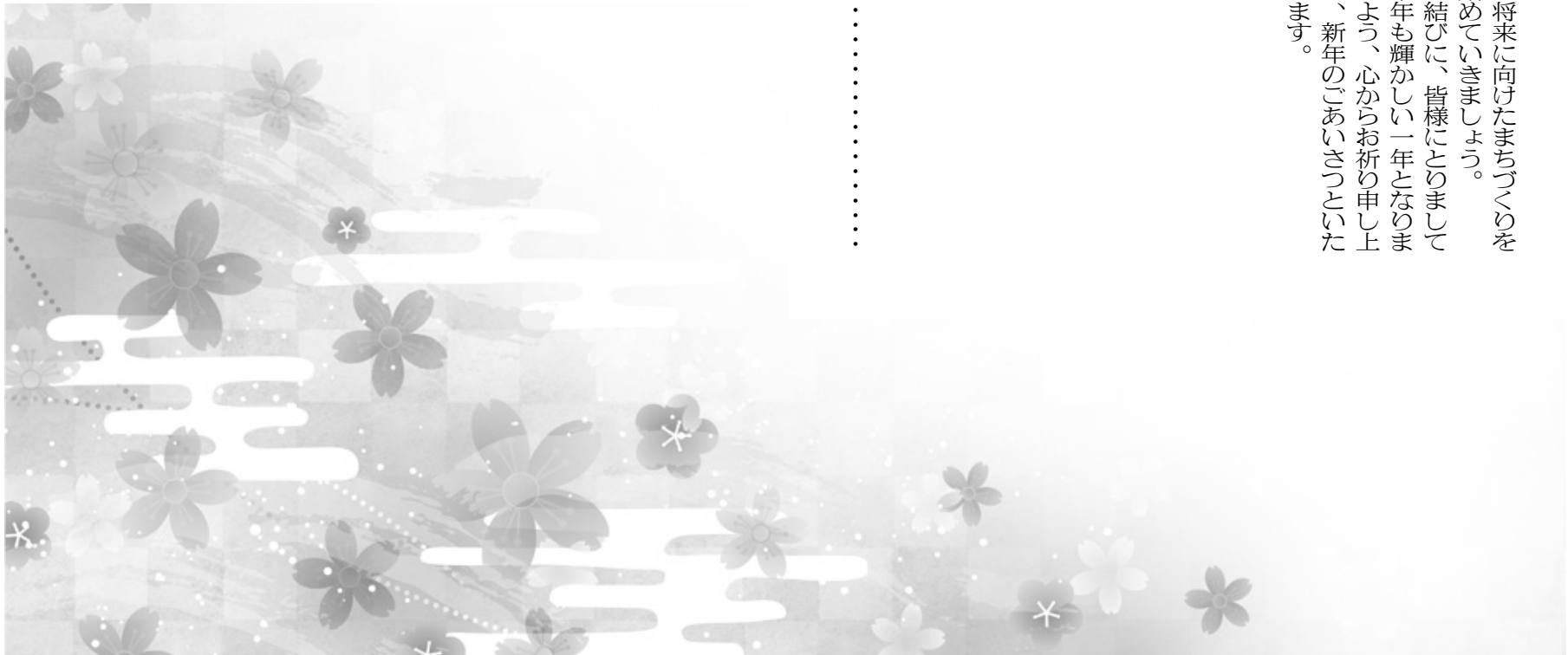
昨年を振り返りますと、三
年間にわたり私たちを悩ませ
続けていた新型コロナウイルス
感染症が、五月以降に感染
法上の「五類」に移行され元
気な平戸を取り戻すことがで
きました。その背景には、感
染防止や収束に向けて、医療
や介護の現場において丁寧か
つ地道に取り組む関係各位の
ご尽力があったことを忘れて
はなりませんし、市内各地区

のまちづくりの運営協議会の関
係者、また文化や観光、産業
界の多くの皆様方のご協力、
そして市民一人おひとりの
平戸に対する郷土愛の賜物で
あると改めて敬意と感謝を申
し上げる次第です。

さて、本年は、東アジアの
英雄として崇められている鄭
成功が平戸で生まれて四百周
年を迎える大事な節目の年で
す。これまで中国福建省南安
市や台湾台南市との長きにわ
たる交流や友情をさらに深め
つつ、この記念すべき事業を
市民総意で盛り上げてまいり
たいと思います。そしてこう
した動きが、国内のインバウ
ンド需要の先駆けとなつて、
昨年九州大学や県内の大
学などと連携し、準備を整え
ている平戸市におけるアルベ
ルゴ・ディフューズタウン事業
を完遂させることにより、平
戸市ならではの伝統的かつ文
化的な街並み環境が生み出す
魅力として多くの方々との交
流を深め、関係人口や交流人
口の増大を図り、経済活性化
を手練り寄せていきたいと思
います。

市民の皆様におかれまして
は、市政に対しましての尚一
層のご理解とご協力をお願い
申し上げますとともに、選ば
れる地方都市「平戸」の信頼
をより高めることによつて、
迫りくる幾つもの課題を乗り
越えてまいりましょう。

結びに、この一年が皆様に
とりまして、限りなくお幸せ
で明るい飛躍の年になります
ことをお祈り申し上げます。
年頭
のごあいさつといたします。



長崎県採石事業協同組合

理事長 中本 明人

[本部] 長崎県長崎市万才町3-1 TEL 095-895-7559

所属組合員

株式会社真興産業	長崎市中町4-28	TEL 095-824-6342
加藤産業株式会社	長崎市竹の久保町20-9	TEL 095-864-7321
東興産業株式会社	松浦市福島町塩浜免2958-1	TEL 0955-47-4100
小嶋産業株式会社	西海市西海町太田和郷4426	TEL 0959-32-9501
たつみ産業株式会社	佐世保市木風町1468-1	TEL 0956-31-8268
株式会社有明商事	諫早市小長井町小川原浦498	TEL 0957-34-2001
巖原砕石株式会社	対馬市巖原町東里238-23	TEL 0920-52-0985
八重島窯業原料株式会社	対馬市巖原町東里75	TEL 0920-52-1137

心Heart 技Technology 色Colorで、確かな未来を



一般社団法人
日本塗装工業会 長崎県支部

支部長 出端 隆治

事務局 〒850-0862 長崎市出島町12-28平和ビル3F TEL.095-826-2681 FAX.095-827-8456

一般社団法人 長崎県採石協会

会長 石場 一広 副会長 中本 明人 加藤 博文

〒850-0034 長崎市樺島町9番19号
TEL.095-893-6247 FAX.095-893-6248 <http://ww22.tiki.ne.jp/~saikyo/>

六つの将来像実現を目指し、 持続できるまちづくりに取り組む

松浦市長 友田 吉泰



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、令和六年の新春をお健やかに迎えのこととお慶び申

申し上げます。
長きにわたる新型コロナウイルス感染症への対応は、昨年ようやく節目を迎えました。一方で、不安定な国際情勢等に起因するエネルギーや原材料価格の高騰に加え、円安の進行による物価高の影響によって、市民皆様の生活は依然として厳しい状況が続いております。引き続き、市内の経済対策、物価高対策に取

り取り組んでまいります。さて、本年は、松浦市消防署鷹島出張所、鷹島学校給食共同調理場の整備について、本格的な建設工事に着手することとしており、県営事業として進められている松浦港（御厨地区）の緑地整備については、令和6年度中の工事完成へ向けて、引き続き県と連携して取り組んでまいります。

西九州自動車道松浦佐々道路については、国土交通省において、継続的に予算措置がなされ、昨年は、松浦IC、平戸IC間で松浦1号トンネル及び松浦2号トンネル（いずれも仮称）が貫通するなど、順調に工事が進められており、地元調整など、国や県と協力しながら早期完成に向けて事業の進捗に努め、開通後の交流人口拡大と地域経済の活性化に繋げてまいります。

また、市道整備については、道路改良事業を引き続き実施することともに、通学児童の交通安全の確保を図るための通学路安全対策事業、老朽化している橋梁等の長寿命化事業等を計画的に実施してまいります。さらに、公営住宅等については、計画的な長寿命化対策を講じながら、適切な維持管理に努めてまいります。

対馬の魅力再認識し 誇りと愛着が深まる事業を展開

対馬市長 比田 勝尚喜



あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのこ

と心からお慶び申し上げます。また、日頃より市政に対して深いご理解と協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年を振り返りますと、世界に未曾有の事態をもたらした新型コロナウイルス感染症につきましては、5月に感染症法上の位置づけが5類感染症に移行となりました。実に3年余り、私たちの生活に多

大な影響を及ぼしたわけですが、5類移行後は制限を設けない形でイベントが開催されるなど、市内に活気と賑わいが戻ってきたことを大変うれしく感じております。これまでの間、皆様には感染拡大防止にご理解と協力を賜り深く感謝申し上げます。これから社会経済活動がますます活発になるものと思われ、市として、対馬の更なる発展に向けて知恵を絞り取り組んでまいり所存でございます。

本年は、対馬市が平成16年に誕生してから20周年を迎えます。これまで本市の発展のためにご尽力いただいた皆様

に心から感謝を申し上げます。市では、この節目の年を、市民の皆様とお祝いし、これまでの対馬市の歩みを振り返り、さらなる飛躍に向けて歩み出すきっかけとするため、令和6年度に記念式典や記念事業の実施を予定しております。20年という節目を迎え、先人が築いてこられたこれまでの歴史を未来へ継承するとともに、対馬の魅力再認識し、誇りと愛着が深まるような事業を展開してまいります。

引き続き、市民協働・市民主体のまちづくりを進め、「みんなが主役になる希望の島」「地域経済が潤い続ける島」

この新しい1年がさらによい年でありますよう
心からお祈り申し上げます

2024年1月

長崎県ジオファイバー協会
長崎県ニューレスプ協会

NETIS:平成28年度準推奨技術

会長 松本 英陸

NETIS:QS-110014-VE

(株)アサヒコンサル/グリーン工業(株)/株)早田組/大栄開発(株)
田中工業(株)/株)法面/日特建設(株)/日本乾溜工業(株)/松本建設(株)

【事務局】長崎県諫早市永昌町45-53 1F 日特建設株式会社長崎営業所内 TEL:0957-49-9320 FAX:0957-49-9321

一般社団法人 **長崎県溶接協会**

〒856-0026 TEL 0957-52-1146
大村市池田2丁目1303番地8 (工業技術センター内) FAX 0957-52-1147

溶接技能者評価試験及び溶接技術の向上を目的とした講習・研修会の開催、技術者・技能者の育成と情報提供を行っています。

一般社団法人 **日本造園建設業協会** 長崎県支部
支部長 松田 英明

一般社団法人 **長崎県造園建設業協会**
会長 渡邊 道明

長崎県長崎市魚の町3-33 長崎県建設総合会館2F TEL:095-827-0590 FAX:095-824-4473

Nkk 長崎県型枠工事業協同組合

代表理事 松谷 忠雄 組合員一同

〒859-0404 長崎県諫早市多良見町西川内54 Tel・Fax: 0957-43-1021

市制施行二十周年、さらなる発展を目指して

五島市長 野口市太郎



明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、新春を健やかに迎えて、

五島市は、人口減少、地球温暖化、働き方改革等、待ったなしの課題に正面から向き合い、活力あるまちづくりを進めるため、「第二期五島市総合戦略」に基づき、人口減少対策をはじめ各種施策に積極的に取り組んでいます。昨年四月、交流の拠点とし

て新たに開館した五島市立図書館やリニューアルオープンした鏡瀬ビクターセンターが賑わいを創出しています。コロナ禍後の観光需要を喚起するため、長崎県及び五島市独自の誘客キャンペーン事業を展開するとともに、NHK連続テレビ小説「舞いあがれ！」やドラマ「ぼらかもん」の放送が追い風となり、昨年の観光入込客数は世界遺産登録前の平成二十九年同期とほぼ同じ水準まで回復しました。

五島市には世界遺産、日本遺産、ジオパークをはじめとした歴史的・文化的な魅力が市内各地に深く根付いています。五島市には世界遺産、日本遺産、ジオパークをはじめとした歴史的・文化的な魅力が市内各地に深く根付いています。有国籍離島法による雇用拡充事業のほか、移住者支援やテレワークの環境整備等、移住・定住対策が実を結び、今年度のUIターン者数は過去最高を記録した昨年度を超える勢いで推移しています。

今後は、出会いから結婚・出産・子育てまでの切れ目ない支援を推進するとともに、病気の早期発見のため特定健診やがん検診の普及啓発に努め、生活習慣の改善等により健康寿命の延伸を図ることで自然減対策により一層取り組んでまいります。

五島市はデジタル技術を活用し、昨年、各種届出の「書かなくていい窓口」や行政手続きのオンライン化、支所・本庁間のデジタル相談窓口を開設したほか、自宅で医師や薬剤師の診療が受けられるモバイルクリニックや予約制乗合タクシー「チョイソコ」などの運行エリアを奈留島に拡大する等、住民サービスの利便性向上を図ってまいります。

市制施行20周年 時代の変化に対応

壱岐市長 白川博一



新年あけましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに輝かしい新年をお迎えのこと、心からお慶び申し上げます。平素より、市政運営に対し

ご理解とご協力を賜り、年頭にあたり厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、全国的に経済活動が活性化している中、昨年は、サイクルフェスティバル、ウルトラマラソン等、本市の一大イベントを盛会裏に開催できたところでありま

す。また、新しい取組として、本市へのエンゲージメント（愛着や一体感の結びつき）を持った企業等とパートナー

シップ協定の締結を進める等、壱岐市の振興・発展のため、各種の事業及び施策を展開してきました。

さて、本市は来る3月1日に市制施行20周年の節目を迎えます。人口減少や少子高齢化など時代の変化に対応するため、第3次壱岐市総合計画に掲げる施策を推進しつつ、山積している課題や懸案事項について一意専心取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

本市は、2018年にSDGs 未来都市に選定され、環境・社会・経済の3側面から持続可能な地域づくりを進めてまいりました。昨年11月、経済面の取組として、市内事

業者皆様のSDGs達成につながる取組の「見える化」を図るため、SDGs登録・認定制度を創設しました。環境面では、2050年地域脱炭素の実現に向け、再生可能エネルギーの導入拡大を図り、また、磯焼け対策としてこれまで進めてきた藻場の再生事業の成果を活用し、ブルーカーボンクレジット制度への参入を果たす予定であります。社会面では、DX等を活用した市が目指す対話型社会の深化を図る取組などを進めるとともに、本市独自の小

・中・高校生を対象とした段階的なSDGs教育プログラムを継続し、市の将来を担う人材の育成にも注力してまいります。

この他、産業振興、結婚・子育て支援・健康づくり、防災対策など、各分野において、市民皆様の暮らしの向上に資する各施策に全力で取り組んでいるところであり、新たな世代に「住み続けられる壱岐」を継承していくため、「誰一人取り残さない協働のまちづくり」を、市民皆様とともに築いてまいります。

結びに、この1年が皆様にとりまして幸多き素晴らしい年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新春のお慶びを申し上げます



長崎県北生コン協同組合

理事長 福田輝機

〒857-0032 長崎県佐世保市宮田町1-6
電話 0956-76-7001 FAX 0956-76-7002

適マーク承認工場・官公需適格組合・瑕疵補償保険加入



新年あけましておめでとうございます



公益財団法人
長崎県建設技術研究センター

Nagasaki civil Engineering Research Center (略称:NERC ナーク)

〒856-0026
長崎県大村市池田二丁目1311番3
TEL:0957-54-1600
FAX:0957-54-1505
https://www.nerc.or.jp

ナーク 検索



ホームページはこちらから



資源・産業・ひと、飛躍の時代とき

西海市長 杉澤泰彦



あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年5月に新型コロナウイルス感染症の5類移行により、多くの地域行事が再開され、「やっと地域に元気が戻ってきた」と実感することができました。

さて、市政におきましては、西彼杵道路について、令和4年度に事業化・着手された大申インターから延長される区間の測量等が着々と進められ、市民生活の利便性向上が期待されます。また、大島地区工業団地整備事業の完成に伴い、公募により購入予定事業者が決定したほか、崎戸町江島沖洋上風力発電事業については、国が洋上風力発電事業者を選定するなど大型事業が着々と進み、令和5年は、飛躍の年になりました。

地域経済等では、電源開発株から松島火力発電所の1号機

機の廃止、2号機の停止・アップサイクルに伴うCO2フリー水素発電を目指した「GENESIS松島計画」の着実な推進について発表がありました。既に、関連企業を含む、現在雇用されている従業員の確実な雇用の確保のほか、地元経済支援策等、市民の生活と雇用を守るため、長崎県と連携して取り組んでいきます。将来的にはCCS(二酸化炭素の回収・貯留)、CCUS(分離・貯留した二酸化炭素の利用)の技術による水素発電・水素供給など、国内におけるカーボンフリー火力発電の先進地となることを大いに期待しているところであります。

令和6年は、江島沖洋上風力発電事業、大島地区工業団地活用、救急告示クリニック開設(令和7年1月予定)をはじめ、市の主要施策をさらに進めるため、令和6年を「飛躍の時代(とき)」と位置づけ、このチャンスを最大限に活かして、市民の皆様が「西海市に住んで良かった」と感じてもらえるまちづくりを進めてまいります。

結びに、皆様方にとって幸多い年となりますようお祈り申し上げます、新年のあいさつといたします。

持続可能なまちづくりを目指して

南島原市長 松本政博



新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかで希望に満ちた新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。

さらなる飛躍へ、挑む

雲仙市長 金澤秀三郎



新年、あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、

本市においても、コロナ後の景気対策事業と併せて、各種の物価高騰対策事業を行うところであり、今後も、事業、生活支援など、市民生活の安心の確保に取り組んでまいります。

本年は、「第II期南島原市総合計画 後期基本計画」に「住み続けたいまちづくり」の掲げている重点プロジェクト「元気な産業と定住促進のまちづくり」「住み続けたいまちづくり」の環境づくり「便利な地域のための礎づくり」の3つのプロジェクトを推進し「持続可能なまちづくり」を加速させる年と考えています。

そのために、地場産業の振興、後継者対策をはじめ、堂崎港埋立地や市内の遊休資産を活用した企業誘致などに取

り組み、新たな雇用機会を創出し、市民の「働く場所」を確保してまいります。

また、全ての人が、「元気に安心して暮らせる」よう、環境負荷低減や循環型社会の推進、災害発生等に備えた社会基盤整備を行うとともに、「住み続けたいまちづくり」のため、各世代で切れ目のない支援や環境整備を更に強化します。

また、「便利な地域」を目指すため、不利な地理的条件の緩和に向け、高規格道路整備の要望の強化、「島原天草長島連絡道路」の早期事業化への取り組みや、地域間を結ぶ市内道路網の整備を進めるとともに、デマンド型乗合タクシーの充実と、地域内の公

共交通対策を推進します。

更には、行政のデジタル化、地域のDX化をはじめ、現在、工事を進めている「自転車・歩行者専用道路」や、世界文化遺産「原城跡」などの地域資源の磨き上げなど、取り組むべき事業は数多くあります。が、効率的な自治体運営に努めながら「持続可能なまちづくり」の実現のため、引き続き、市民の皆様と共に全力で市政運営に取り組んでまいりますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多き一年となりますよう、心からお祈り申し上げます、新年の挨拶といたします。

観光分野では、雲仙観光局と連携し、昨年3月に観光庁の地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりのモデル観光地に選定されたことなども踏まえ、本年3月に国立公園として指定90周年を迎える雲仙地域の豊かな自然を融合した観光コンテンツの造成を進めてまいります。

社会基盤と環境の分野につきましては、高規格道路「島原道路」において、11月に森山東から森山西の区間が開通したほか、愛野・小浜間の幹線道路整備において、「国道57号富津防災」の計画的な予算確保と事業促進に向けた関

与えております。

昨年を振り返ると、物価高騰等への経済対策を優先しながらも、第2次雲仙市総合計画後期基本計画に基づき、市民皆さまのご理解とご協力により様々な事業等に取り組むことが出来ました。

暮らしと安心の分野では、子ども等の医療費の一部を支給する福祉医療費支給事業において、4月から高校生世代まで対象を拡大するともに、10月からは、一時的な費用負担や申請手続などの負担軽減のため、小・中学生を対象に現物給付による助成を開始いたしました。

結びに、雲仙市にとりまして、本年がさらなる飛躍の年となるよう、また、皆さまの笑顔が絶えない希望に満ちた年になりますことを祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。